

香川県におけるクスベニヒラタカスミカメの分布状況

玉川晋二郎¹

[Shinjiro Tamagawa¹: Distribution of *Mansoniella cinnamomi* (Zheng and Liu, 1992) in Kagawa Prefecture, Japan]

キーワード：外来カメムシ，坂出市，高松市

はじめに

クスベニヒラタカスミカメ *Mansoniella cinnamomi* (Zheng and Liu, 1992) は、2015年に日本国内で初めて見つかった外来のカメムシで、原産地である中国から関西へ侵入したとみられている(安永ほか, 2016)。クスノキ *Cinnamomum camphora* (L.) J. Presl の葉を吸汁する害虫として知られ(例えば, 山田, 2019)、2016年の段階で、近畿地方において広域的に分布が広がっている(長島ほか, 2016)。四国への侵入もすでに確認されており、2018年には愛媛県(吉田, 2018)、香川県(藤本, 2019)、徳島県(山田, 2019)における報告がある。

本稿では、2019年11月末の時点での香川県における

本種の分布状況を報告する。

調査方法

山田(2019)に従い、目視により吸汁痕が確認できた場合に、捕虫網を用いたスウィーピングにより、成虫および幼虫を採集した。

結果および考察

調査結果を表1、分布状況を図2に示した。県内5市町合計19地点で調査を行ったところ、すべての地点で本種(図1)の発生が確認され、すでに高松市や坂出市

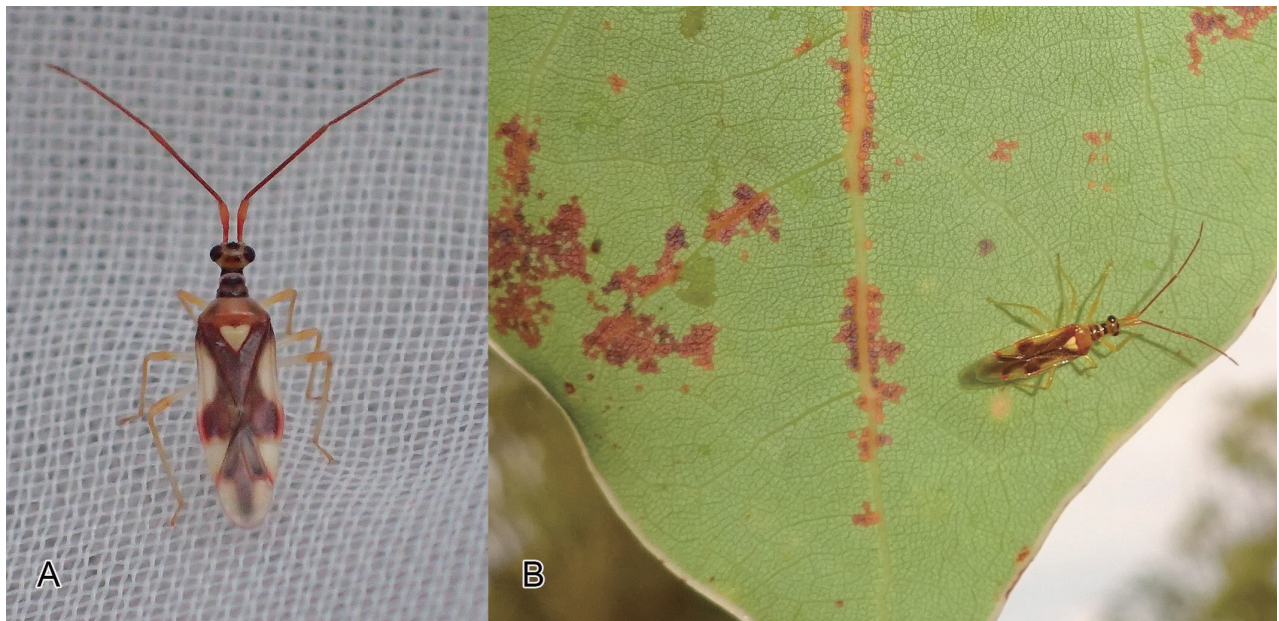


図1. クスベニヒラタカスミカメ *Mansoniella cinnamomi* の成虫。A, 高松市屋島西町(東部下水処理場, 2019年11月4日); B, 高松市林町(香川県立図書館, 2019年10月20日)。

2019年12月16日受付, 12月17日受理。

¹大阪市立自然史博物館外来研究員。〒761-0112 高松市屋島中町454-8。Guest Researcher of Osaka Museum of Natural History. 454-8, Yashimanakamachi, Takamatsu City 761-0112, Japan.

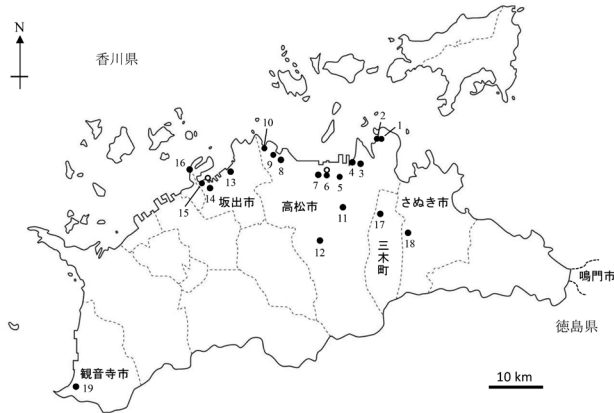


図2. 香川県におけるクスベニヒラタカスミカメ *Mansoniella cinnamomi* の分布状況。図中の番号は調査地点番号に対応。●：本調査における成虫確認地点，○：2018年の成虫確認地点（藤本，2019）。

表1. 香川県におけるクスベニヒラタカスミカメ *Mansoniella cinnamomi* の発生状況（2019年11月末まで）。

市町村	町・字	地名	調査日
1 高松市	庵治町才田	庵治小学校	8/25●
2 高松市	庵治町才田	庵治町支所	8/10●
3 高松市	屋島西町	屋島小学校	10/20● 11/4●
4 高松市	屋島西町	東部下水処理場	8/11● 9/28● 10/20● 11/4●
5 高松市	松島町	高松第一中学校	8/17●
6 高松市	番町	市立中央公園	9/13●
7 高松市	幸町	香川大学	8/8● 9/30●
8 高松市	生島町	下笠居小学校	9/16●
9 高松市	生島町	香川県営野球場	8/24× 11/23●
10 高松市	亀水町	亀水運動センター	11/23●
11 高松市	林町	香川県立図書館	8/18● 10/20●
12 高松市	香川町川東上	香川図書館	8/22●
13 坂出市	林田町	林田運動公園	9/15●
14 坂出市	寿町	大橋記念図書館	9/15●
15 坂出市	番の州公園	番の州球場	11/23●
16 坂出市	番の州緑町	瀬戸大橋記念公園	11/23●
17 三木町	大字池戸	香川大学農学部	8/22● 11/3●
18 さぬき市	長尾東	長尾総合公園	8/22× 11/3●
19 観音寺市	豊浜町箕浦	豊浜SA(下り)	11/23●

●：成虫確認，×：調査したが未確認。

をはじめ県中部には広く分布していることが明らかになった。県西部は、西端部にあたる観音寺市豊浜町（調査地点19）1ヶ所のみ調査であるが、坂出市の分布状況と合わせて推測すると、広く分布していると考えられる。県東部に到っては未調査ではあるが、さぬき市（調査地点18）とすでに報告がある徳島県鳴門市の分布状況（山田，2019）から推測して、同様に広く分布している可能性が高い。

本種は、経年的な分布状況から、淡路島からの四国への侵入の可能性が高いとされる（山田，2019）。坂出市ではすでに発生の報告（藤本，2019）があるため、瀬戸大橋経由の侵入の可能性も考えて、同市内4ヶ所を調べ

てみた。瀬戸大橋の四国側の付け根にあたる番の州（調査日11/23，調査地点15，16）では成虫の確認数はそれほど多くなかった。一方で、市街地（調査日9/15，調査地点13）における個体数は非常に多く、吸汁痕も目立った。瀬戸大橋が侵入経路の一つである可能性は否定できないが、主要な経路ではないように思われた。

高松市、坂出市の沿岸部や幹線道路沿いにはかなりの数のクスノキが連続的に植栽されているところが多い。一方でやや内陸部に何本かクスノキが植えられているような場所で、交通量もそれほど多くはなさそうな地点（調査地点17，18）にもかなりの個体数が確認された。

8月22日の長尾運動公園（調査地点18）では、目立った吸汁痕はなく成虫も確認されなかったが、11月3日には目立った吸汁痕とともに多数の本種成虫が確認された。また、8月24日の県営野球場（調査地点10）でも、目立った吸汁痕はなく成虫も確認されなかったが、11月23日には目立った吸汁痕とともに本種成虫1頭が確認された。これらの調査結果から、引き続き分布を拡大させていると思われる。

なお、9月30日に香川大学キャンパス内で採集された標本が徳島県立博物館にて保管されている。

謝 辞

本稿を執筆するにあたり、本種の調査・採集方法についてご教示くださり、同定を行っていただいた徳島県立博物館の山田量崇 博士にお礼申し上げる。

引用文献

藤本博文. 2019. クスベニヒラタカスミカメを香川県でも採集. へりぐる, (40): 18.

長島聖大・岩崎 拓・山田量崇. 2016. 2015年に日本へ侵入したクスベニヒラタカスミカメ *Mansoniella cinnamomi* の分布拡大状況. 昆虫と自然, 51(14): 26-29.

山田量崇. 2019. 徳島県におけるクスベニヒラタカスミカメの分布状況. 徳島県立博物館研究報告, (29): 9-14.

安永智秀・穆 怡然・長島聖大・山田量崇・高井幹夫. 2016. 最近日本に侵入した外来カスミカメムシ: *Mansoniella cinnamomi*. Rostria, (60): 17-20.

吉田一樹. 2018. クスベニヒラタカスミカメを愛媛県から採集. 月刊むし, 573(11): 52-53.